	法定	自主
2	0	

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 24 日

相模原市長 殿

提出者

住 所 東京都千代田区一番町31

氏 名 株式会社錢高組東京支社 執行役員支社長 西尾嘉洋

> (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 03-3265-4611

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理 に関する計画を作成したので、提出します。

自主管理事業登録番号 事 業 場 の 名 称 株式会社錢高組東京支社 (2601) 03-3265-4611 TEL(連絡先): 東京都千代田区一番町31 事業場の所在地 計 画 期 間 令和7年4月1日~令和8年3月31日(1年間) 当該事業場に関する事項 ① 事業の種 類 D一建設業 (具体的には) 総合工事業 ② 事業の規 模 製造業 製造品出荷額 百万円 建設業 エリア内元請完成工事高 34,000 百万円 ※ 前年度実績を 医療機関 病床数 床 記入、医療機関は 前年度末時点の病 その他の業種 売上高 百万円 床数を記入。 (上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。) ③ 従業員数 469人 ④ 産業廃棄 物の一連 の処理の 工程 別紙資料-1 廃棄物処理フロー図参照 ※ 産業廃棄物の 種類ごとに記入

産	産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項							
	(管理体制図)							
	別紙資	料-2、資料2-1 参照						
産氵	業廃棄物の排出	の抑制に関する事項						
		【前年度(令和6年度)実績】						
		産業廃棄物の種類数	6 種類	* 種類ごとの前年度排出				
		① 排出量	2,513.4 t	量は、別紙のとおり。				
		(これまでに実施した取組)						
① 現状 ・施工高当りの新築系産業廃棄物(汚泥除く)排出量に管理目標値を設け、総排出量の ・新築建設工事の混合廃棄物について目標値を設け、発生の抑制を図る。 ・施工方法を考慮することにより産業廃棄物の発生の抑制を図る。 ・メーカーによる過剰梱包材による持込監視の強化を行う。								
		【(令和7年度)目標】 産業廃棄物の種類数	6 種類	77 (07 -) 1 - 1 1 1 1 1				
				* 種類ごとの本年度排出 目標量は、別紙のとおり。				
		① 排出量	760.0 t	口は上は、からはく				
		(今後実施する予定の取組)						
・上記①現状の取り組みを継続し、各作業所への指導教育の強化を図る。								
産	業廃棄物の分別	•						
		(分別している産業廃棄物の種類及	び分別に関する取組)					
	① 現状	・廃プラスチック、木くず、紙くず、ダンホール、繊維くず、廃石膏ホート、カラス陶磁器くず、 見状 コンクリート塊、、廃アスファルト、金属くず その他がれき類、混合廃棄物、 石綿含有廃棄物、廃油、水銀使用廃棄物の15種類 ・ゼロエミッション活動による分別の徹底						
		(今後分別する予定の産業廃棄物の)種類及び分別に関する取組)					
	② 計画		、各作業所への指導教育の強化 進により混合廃棄物の削減を図る					

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
		【前年度(令和 6 年度)実績】					
		②+⑧ 自ら再生利用を行った産業 廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら 再生利用量は、別紙のと おり。		
		(これまでに実施した取組)			03.7%		
	① 現状						
		【/人むった広)口標】					
		【(令和7年度)目標】			* 種類ごとの本年度自ら		
		②十⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	再生利用量は、別紙のとおり。		
		(今後実施する予定の取組)					
	② 計画						
自	っ行う産業廃棄物	物の中間処理に関する事項					
		【前年度(令和6年度)実績】					
		⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物 の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら 熱回収を行った量は、別 紙のとおり。		
	① 現状	⑦ 自ら中間処理により減量した産 業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら 中間処理により減量した 量は、別紙のとおり。		
		(これまでに実施した取組)					
		【(令和7年度)目標】					
		⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の 量		t	* 種類ごとの本年度自ら 熱回収を行う量は、別紙 のとおり。		
		⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t	* 種類ごとの本年度自ら 中間処理により減量する 量は、別紙のとおり。		
	② 計画	(今後実施する予定の取組)					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
		【前	年度(令和 6 年度)実績】				
			ト● 自ら埋立処分又は海洋投 型分を行った産業廃棄物の量	0		t	* 種類ごとの前年度自ら 埋立処分又は海洋投入処 分を行った量は、別紙のと おり。
		(=;	れまでに実施した取組)				
	① 現状						
		[(4					
		3-	ト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			t	* 種類ごとの本年度自ら 埋立処分又は海洋投入処 分を行う量は、別紙のとお り。
		(今	後実施する予定の取組)				
	② 計画						
-t- 1	* 						
産ぅ	削りまた (発集物の処理	_	新に関する事項 年度(今和 6 年度) 字練】				
	① 現状	L Ħij	年度(令和 6 年度)実績】				
		10	全処理委託量		2,513.4	t	
			① 優良認定処理業者への処 理委託量		1,419.4	t	
			⑫ 再生利用業者への処理委 託量		2,477.7	t	* 種類ごとの前年度処 理委託量は、別紙のと おり。 -
			③ 認定熱回収業者への処理 委託量		26.5	t	
			⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0		t	
		(こ:	れまでに実施した取組)				
		• 優	者選定時に於ける優良認定処理事業者の 良認定処理事業者及び認定熱回収業者に 広い採用を図る。			の教育を徹	底するとともに、

(第5面)

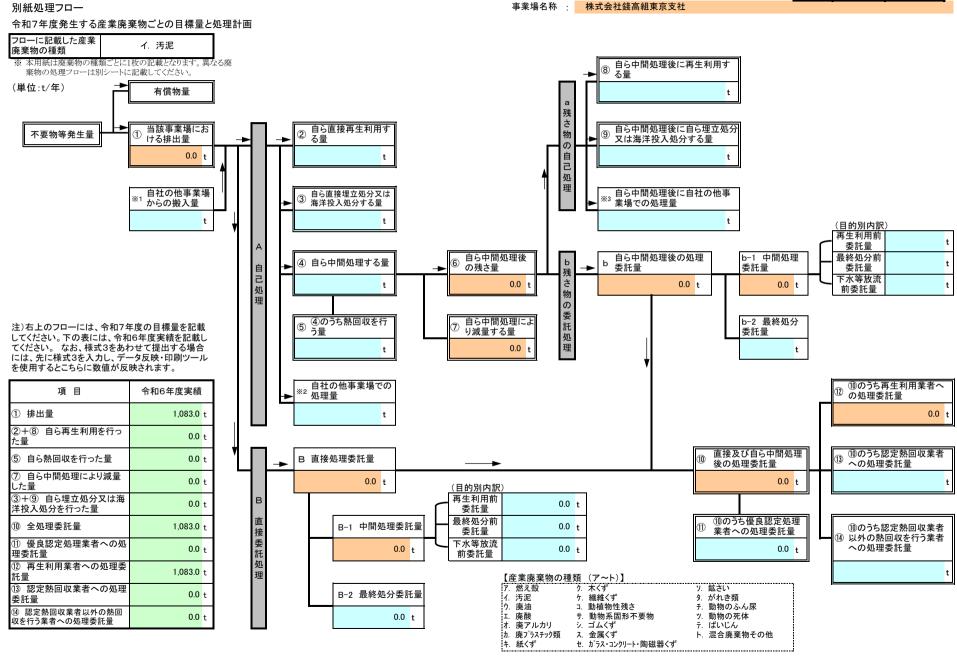
		F /					
		【(令和7年度)目標】					
	② 計画	10	全処理委託量	760.0	t		
			① 優良認定処理業者への処 理委託量	740.0	t		
			① 再生利用業者への処理委 託量	704.0	t	* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。	
			③ 認定熱回収業者への処理 委託量	37.0	t		
			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		t		
		•(1	な後実施する予定の取組))現状で行っていることを継続して行う。 サイクル率の高い業者の開拓を行う。				
*	事務処理欄						

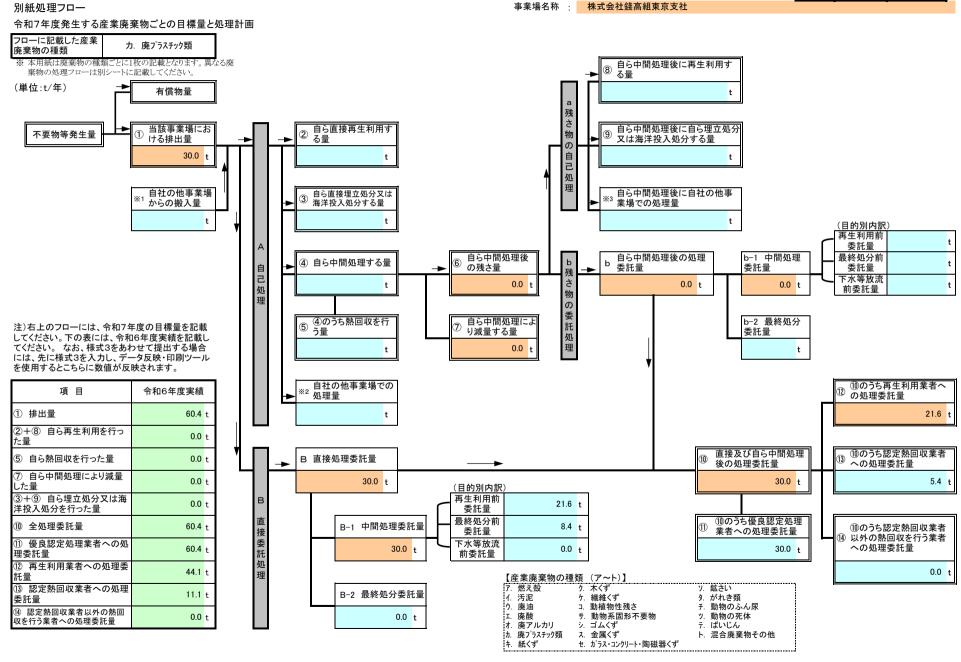
備考

1 この様式は、前年度(令和6年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してく ださい。

また、前年度(令和6年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン未満の事業場にあっては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。

- 2 当該年度(令和7年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入してください。
- 7 第5面の※欄には、何も記入しないでください。

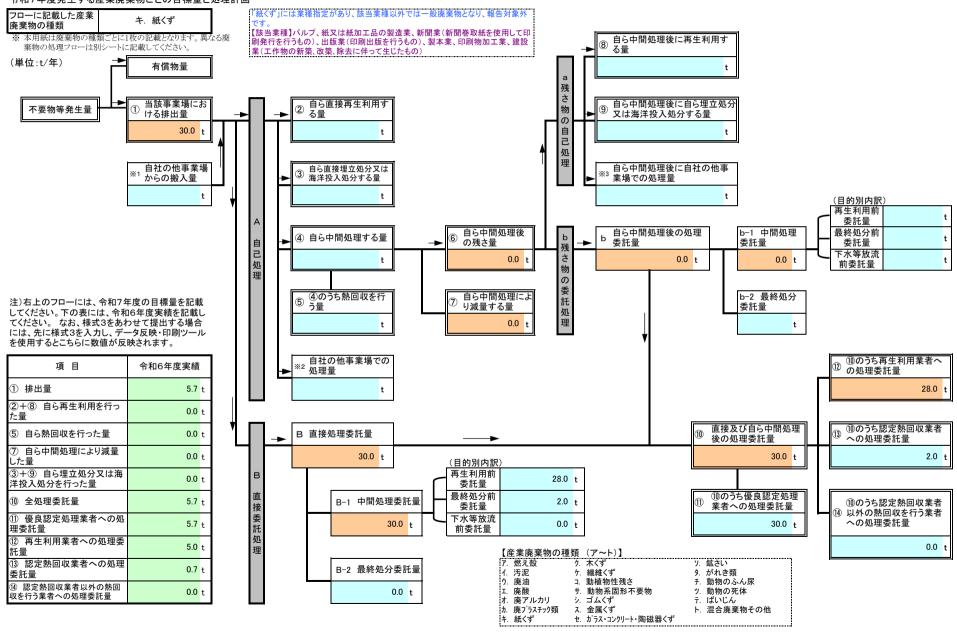




2-2 法定 自主

別紙**卯**理フロー 事業場名称 : <mark>株式会社錢高組東京支社</mark>

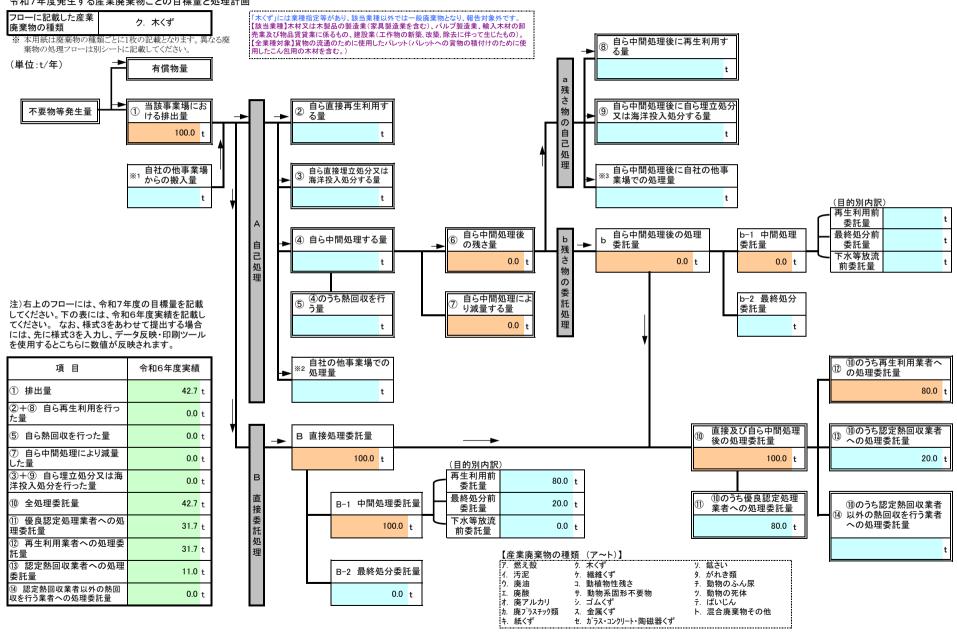
令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画



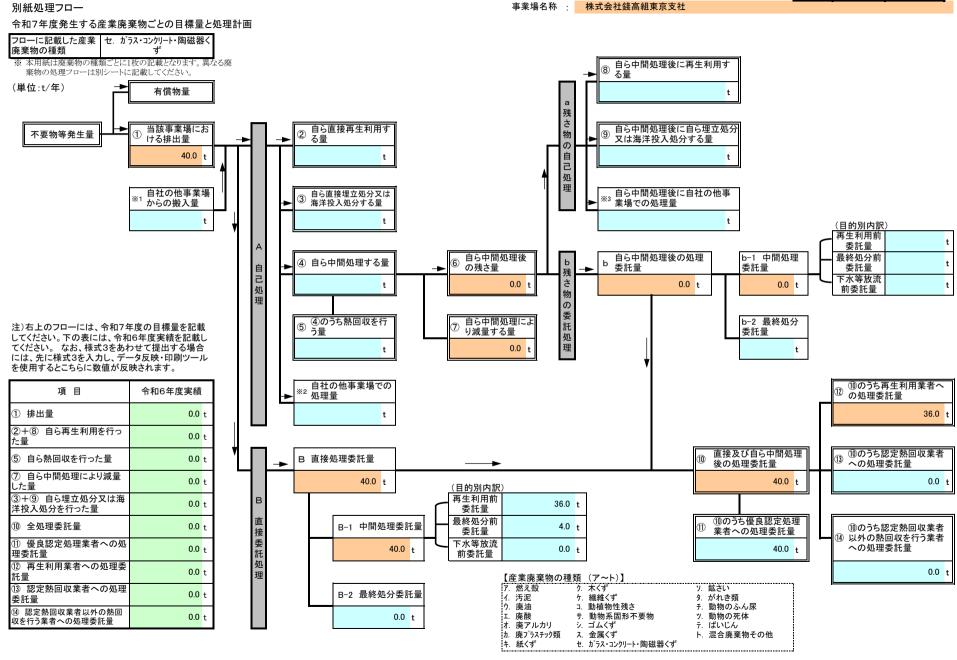
2-2 法定 自主

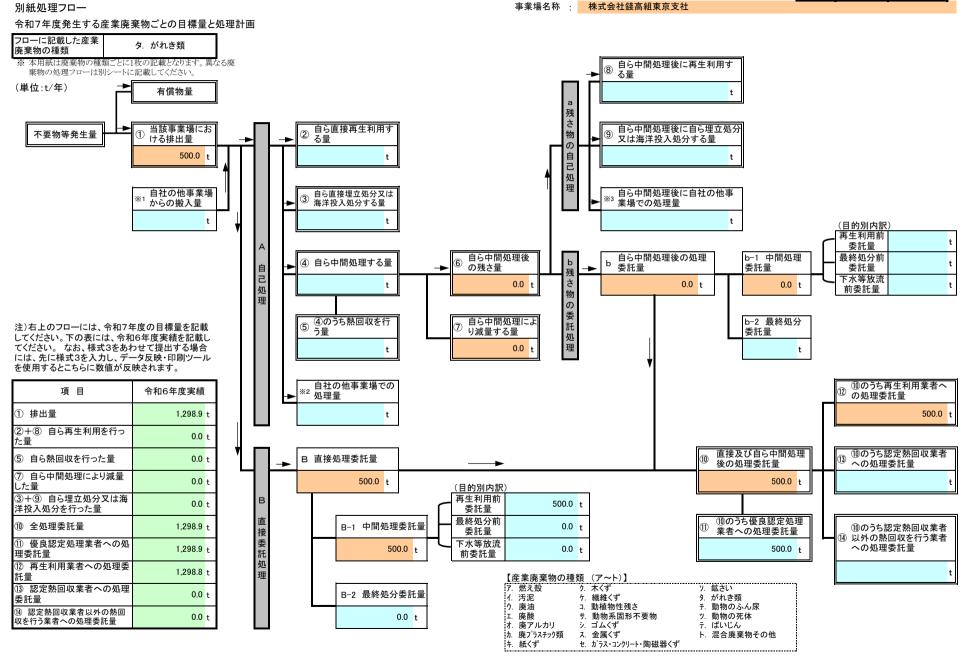
別紙処理フロー 事業場名称:

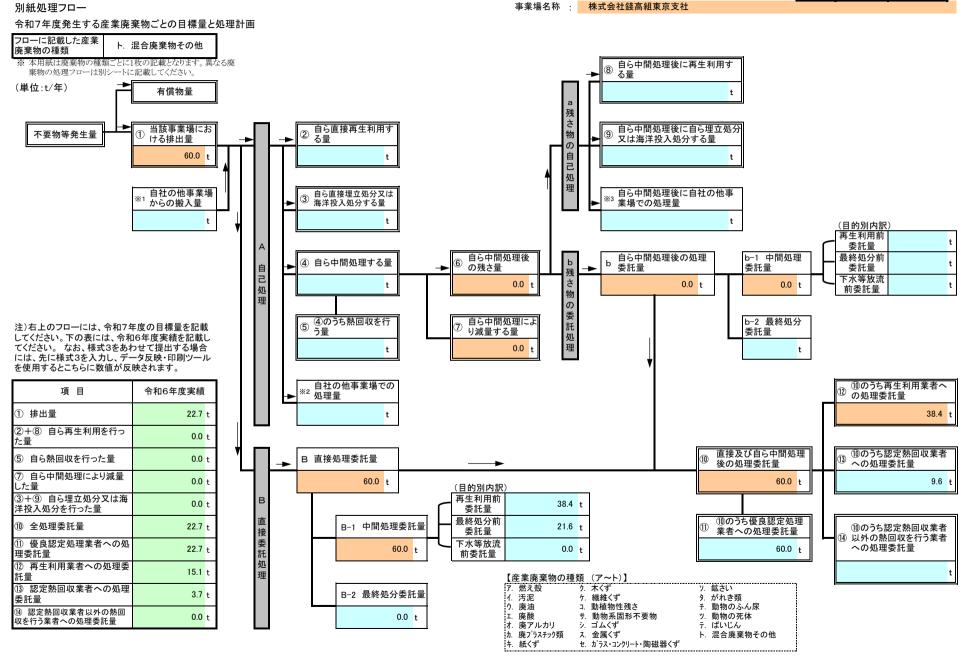
令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画



株式会社錢高組東京支社







別紙一括表

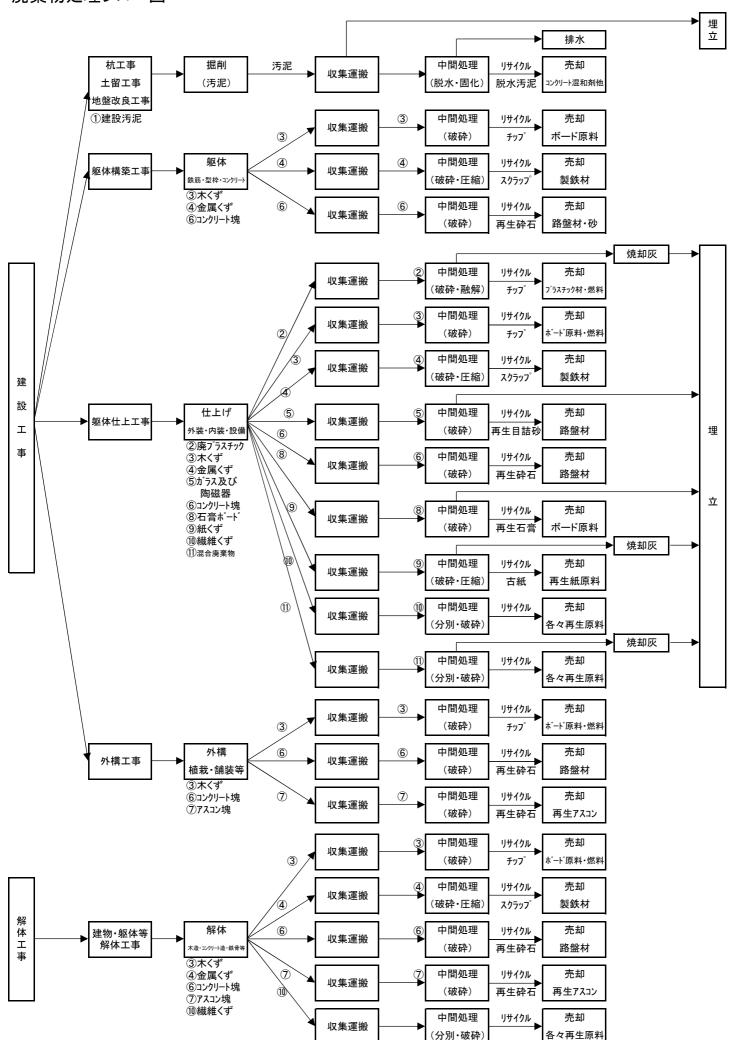
_{事業場名称}。 株式会社錢高組東京支社

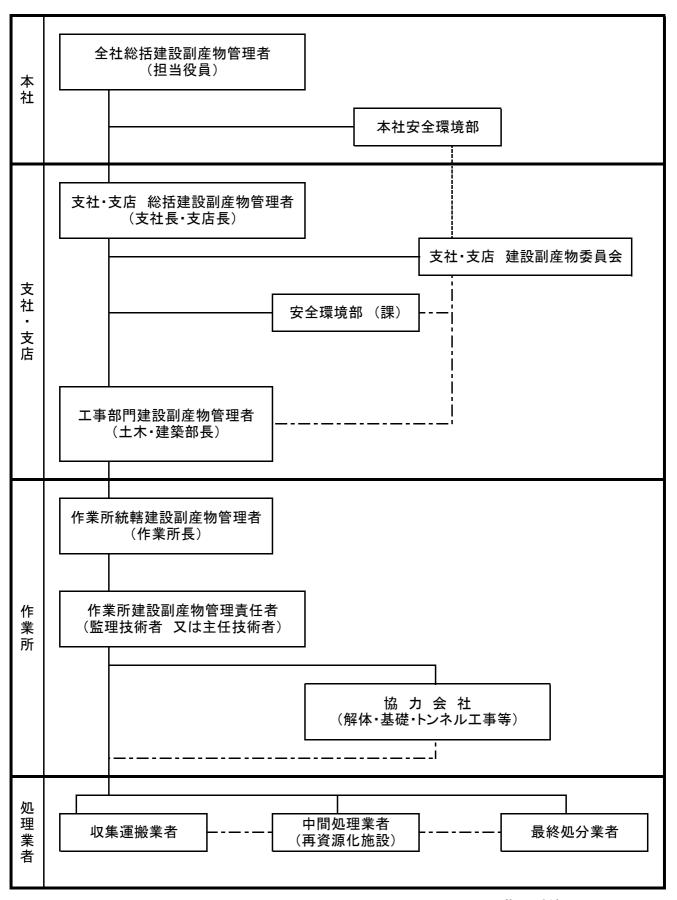
2-1 法定 自主

(単位:トン)

+ \neg 廃アルカ 動物系 動物の 動物の 混合廃棄物 カーラス・コンクリー 燃え殻 汚泥 廃油 廃酸 紙くず 木くず 繊維くず ゴムくず 金属くず 鉱さい がれき類 ばいじん 合計 死体 その他 残さ ① 排出量 1.083.0 2.513.4 60.4 5.7 42.7 0 1.298.9 22.7 0 令 ②+⑧ 自ら再生利用を行った量 0 0 0 0 0 0 和 ⑤ 自ら熱回収を行った量 0 0 0 0 0 0 0 6 ⑦ 自ら中間処理により減量した量 0 0 0 0 0 0 0 年 ③+9 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 0 0 0 0 0 0 0 度 100 全処理委託量 1.083.0 60.4 5.7 42.7 0 1.298.9 22.7 2.513.4 実 ① 優良認定処理業者への処理委託量 22.7 60.4 5.7 0 31.7 1,298.9 1,419.4 績 ② 再生利用業者への処理委託量 1,083.0 44.1 5.0 0 1,298.8 15.1 2,477.7 31.7 ③ 認定熱回収業者への処理委託量 11.1 0.7 11.0 0 0 3.7 26.5 (4) 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 0 0 0 0 0 0 0 (1) 当該事業場における排出量 30.0 30.0 100.0 40.0 500.0 60.0 760.0 ※1 自社の他事業場からの搬入量 ② 自ら直接再生利用する量 ③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量 ④ 自ら中間処理する量 ⑤ ④のうち熱回収を行う量 ※2 自社の他事業場での処理量 自ら中間処理後の残さ量 ⑦ 自ら中間処理により減量する量 自 a ⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量 己 さ 9 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分 如如 自ら中間処理後の処理委託量 b-1 中間処理委託量 再生利用前委託量 最終処分前委託量 下水等放流前委託量 b-2 最終処分委託量 直接処理委託量 30.0 30.0 100.0 40.0 500.0 60.0 760.0 В B-1 中間処理委託量 30.0 30.0 100.0 40.0 500.0 60.0 760.0 直 接 再生利用前委託量 21.6 28.0 80.0 36.0 500.0 38.4 704.0 委 最終処分前委託量 8.4 2.0 20.0 4.0 21.6 56.0 託 処 下水等放流前委託量 理 B-2 最終処分委託量 ① 直接及び自ら中間処理後の処理委託量 30.0 30.0 100.0 40.0 500.0 60.0 760.0 ① のうち優良認定処理業者への処理委託量 30.0 30.0 80.0 40.0 500.0 60.0 740.0 ① ⑩のうち再生利用業者への処理委託量 21.6 28.0 80.0 36.0 500.0 38.4 704.0 (3) ⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量 5.4 2.0 20.0 9.6 37.0 ⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処

廃棄物処理フロー図





——指示系統

----連絡系統

作業所建設副産物管理機構図 支社•支店名 東京支社 作業所名 全社総括建設副産物管理者 (担当役員) 本 社 支社・支店 総括建設副産物管理者 支社・支店 建設副産物委員会 (支社長・支店長) 支 社 支 店 工事部門建設副産物管理者 安全環境部 (課) (土木・建築部長) 協力会社 作業所統轄建設副産物管理者 (作業所長) (作業所責任者) 作業所建設副産物管理責任者 (監理技術者 又は主任技術者) 処 分 業 者 収集運搬業者 (中間・最終)